

0歳児からの音楽会 親子でコンサートに行こう!!



9月27日わかやま市民生協 E*KAO ホールを会場に開催しました。今回で4回目、0歳から3歳の子どもとおとな、130人の来場者で賑やかなコンサートになりました。

『Wa.corda (わ・こるだ)』の演奏のもと、花のワルツなど大人向けのクラシック曲も演奏され、来場者全員が飽きることなく聞くことができました。来場者からは「子どもはもちろんです、普段さわがしい中で生活している大人の方がいやされた気がします。すてきな時間をありがとうございました。なかなかきけない演奏でよかったです。

ぜひまたこのような企画おねがいします。子どもにクラシックをきちんと聴かせるのは初めてでしたが、親子で楽しめました。めっちゃよかった。またしてほしいです。」という嬉しい声を頂戴しました。



《演奏グループ》
『Wa.corda』わ・こるだ
小倉浩晃(バイオリン)
小倉充子(コントラバス)
高山陽子(ピアノ)

※出典/平成30年2月和歌山県消費者センター発行より抜粋

ホットな消費者見守りニュース 11号

～消費者被害にあわないための最新情報をお届けします!～

布団の無料点検商法に気をつけて!の巻



和歌山県消費生活センター

和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 8F
電話: 073-433-1551
FAX: 073-433-3904
(月～金)9:00～17:00
(土・日)10:00～16:00(電話相談のみ)
(祝日・年末年始を除く)

和歌山県消費生活センター 紀南支所

田辺市朝日ヶ丘23番1号
県西牟婁総合庁舎内
電話: 0739-24-0999
FAX: 0739-26-7943
(月～金)9:00～17:00
(祝日・年末年始を除く)

※短縮ダイヤル☎188でもお近くの相談窓口につながります。

見守りポイント

- ①「無料で点検」と言って訪問し、その後、消費者の不安をあおって高額な契約をさせる点検商法です。
- ②近所の一人暮らしの家庭などに、見慣れない業者が頻りに訪れたり、部屋の中に見慣れない段ボールや商品があれば、さりげなく聞いてみてください。

対処方法

- ◆訪問販売で契約した場合は、書面を受け取ってから8日以内であれば、クーリング・オフできます。
- (※布団を洗ってしまったと書かれても訪問販売の場合は8日以内であれば費用負担なしでクーリング・オフできます)

和歌山県生活協同組合連合会

わかやま市民生活協同組合・和歌山中央医療生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合
紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合・和歌山高齢者生活協同組合
泉南生活協同組合・日鉄住金和歌山生活同組合・生活協同組合コープ自然派和歌山

和歌山県

生協連ニュース

No.10

和歌山県生活協同組合連合会

〒640-8323 和歌山市太田三丁目10番10号 わかやま市民生協気付
TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649

和歌山県生協連

検索

<http://www.wakayamakenren.jp/>

～くらし、文化の向上で平和ですみよい和歌山をめざして～

第27回 和歌山県生協大会

第一部：式典には、来賓、会員生協の役職員が参加

開会挨拶として、和歌山県生協連合会 会長理事の上田欣士郎より、発展途上国の飛躍的な向上による価値観の変化について話がありました。また現在の若い世代が、目先の関心事にとらわれず、物事の真実を見極め考えられるように、対応を急ぐ必要があると締めくくりました。

ご来賓より代表して、和歌山県環境生活県民局長・田中一寿様、和歌山県農業協同組合中央会会長代理常務理事・虎伏秀様、日本生活協同組合連合会関西地連事務局長・北村洋様、公益社団法人和歌山県労働者福祉協議会常務理事・小山正人様の4人の方よりご挨拶を頂きました。

また「大会アピール」では、昨年12月に協同組合がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、社会に期待されている中、これまで以上に社会の中に存在価値を高める事や、協同組合間の連帯強化、交流を深め、安心して暮らせる地域づくりを目指していくことを確認しました。

このほか、永年勤続表彰として、県連の会員生協で通算20年以上勤務された10人の方々の功勞に対し、表彰状と記念品を贈呈しました。

第二部：記念講演「道頓堀発おもてなしの心」

講師：(株)くいだおれ取締役会長 柿木 道子さん

くいだおれ太郎という人形でおなじみの株式会社くいだおれ取締役会長・柿木道子さんを講師に招き、講演を行いました。

柿木さんからは、くいだおれがどうやって生まれ、どうやって成長してきたのかを、「おもてなしの心」という視点から講演して頂きました。非常にストーリー性があり、話が進むにつれて徐々に引き込まれていきました。

また、会社を立て直し成長するに至った要因は、「どうすればお客様に喜んでもらえるか」を第一に考えつづけたことだという話がありました。



第38回 労働者福祉まつりに参加しました



和歌山県内の協同組合主催で 第12回 国際協同組合デー in 和歌山を開催しました



平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業 郷土料理と日本型食生活



講師：藤澤 祥子さん（和歌山信愛女子短期大学非常勤講師）
9月16日（土） 10：30～ わかやま市民生協 E*KAOホール

「食育」としての郷土料理だけではなく、歴史の中で育ってきた郷土料理の背景にある物語、郷土食にまつわる温かいお話と、これからの郷土食への想いをお話いただきました。和歌山県に伝わる沢山の郷土料理も紹介していただき、まさしく日本型食生活という原点に戻って、「和食」から食生活と健康を考えることを学びました。



平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業 食品ロスを家庭から考えよう

講師：浅利 美鈴さん（京都大学大学院地球環境学堂准教授）
2018年1月25日（木） 10：30～ わかやま市民生協 E*KAOホール



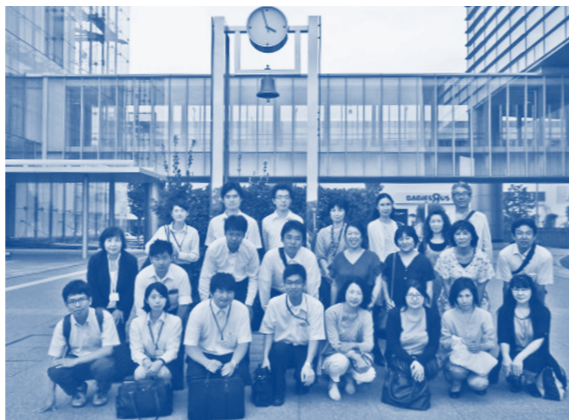
ごみの基礎知識として、日本人1人が1日に出す一般廃棄物の平均量や、家庭ごみの内訳などのお話がありました。家庭ごみの内訳では、食料品の廃棄が一番多く、そのなかでも調理くずや食べ残しの廃棄が多いということでした。浅利さんは、賞味期限がきたから捨てるのではなく、消費期限と賞味期限の表示を正しく理解し、捨てる捨てないの判断をすることが大切だと教えてくださいました。最後には、京都が取り組みを進めている2R（リデュース、リユース）活動についてお話がありました。そもそもごみは出さない事、出たごみはきちんと分別してリサイクルなど、2Rをテーマにした様々な活動の紹介がありました。

県内一斉クリーンウォーク in 和歌山



協同組合の連携を強化し、地域への貢献を目的に県内125カ所で、県生協連、県漁連、県森連、JAグループ和歌山、JA女性会の会員、役職員3,200人が参加しました。和歌山城には約90人が参加、外周や城内道路沿いのゴミを回収しました。終了後には、4協同組合が持ち寄ったおにぎりとお茶が配られました。

役職員研修会



賀川記念館、阪神・淡路大震災の慰霊とモニュメント、人と防災未来センターを見学しました。

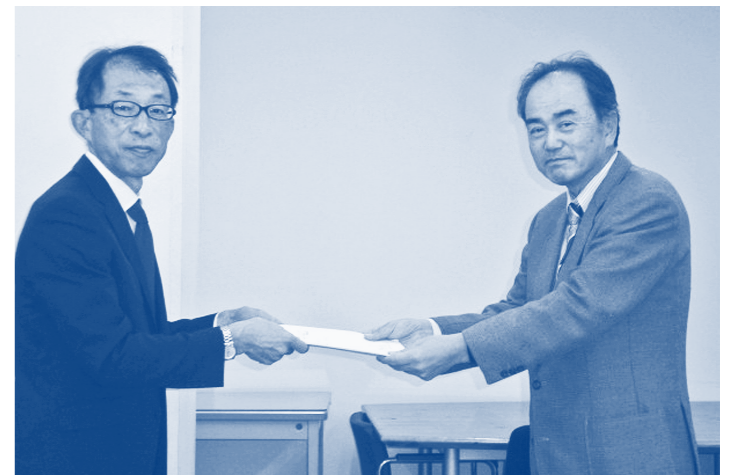


役職員交流会「ボウリング大会」

毎年恒例のボウリング大会。7つの会員生協から105人の役職員とその家族が参加。楽しい半日を過ごしました。美味しい昼食をいただき、賞品もたくさんありました。



2018年度和歌山県への要望書を提出、回答を頂きました



会員生協ボランティア活動を支援しました

会員生協のボランティア活動を以下の活動分野で支援し、会員生協をととして地域社会への貢献をより広げることを目的としています。今年度も、紀の国医療生活協同組合の「年末もちつき大会」とわかやま市民生活協同組合の居場所づくり「和・コープ」のとりくみに助成が決定しました。

《申請対象となる活動分野》

- 福祉**：身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者、難病・長期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かにするなどの活動
- 環境**：自然保護、環境保全、リサイクル活動や環境保全に関する啓発などの活動
- 教育**：子どもの健全育成、子育て支援などの活動
- 国際交流**：留学生・研修生などの外国籍市民との交流、途上国への協力などの活動
- 災害**：災害支援活動



わかやま市民生活協同組合「和・コープ」